

土木
の日



大分建設新聞 フォトコンテスト

2019年度

結果
発表

「土木の日、大分建設新聞フォトコンテスト」へのたくさんのご応募、誠にありがとうございました。

11月13日、大分市の県建設会館にて大分県美術協会写真部顧問の芦刈博美氏を審査委員長に迎え、厳正なる審査を行い、受賞者を決定いたしました。県内のすばらしい、建築物や構造物、それに関わる人や風景の写真には、審査委員一同、感激を致した次第です。

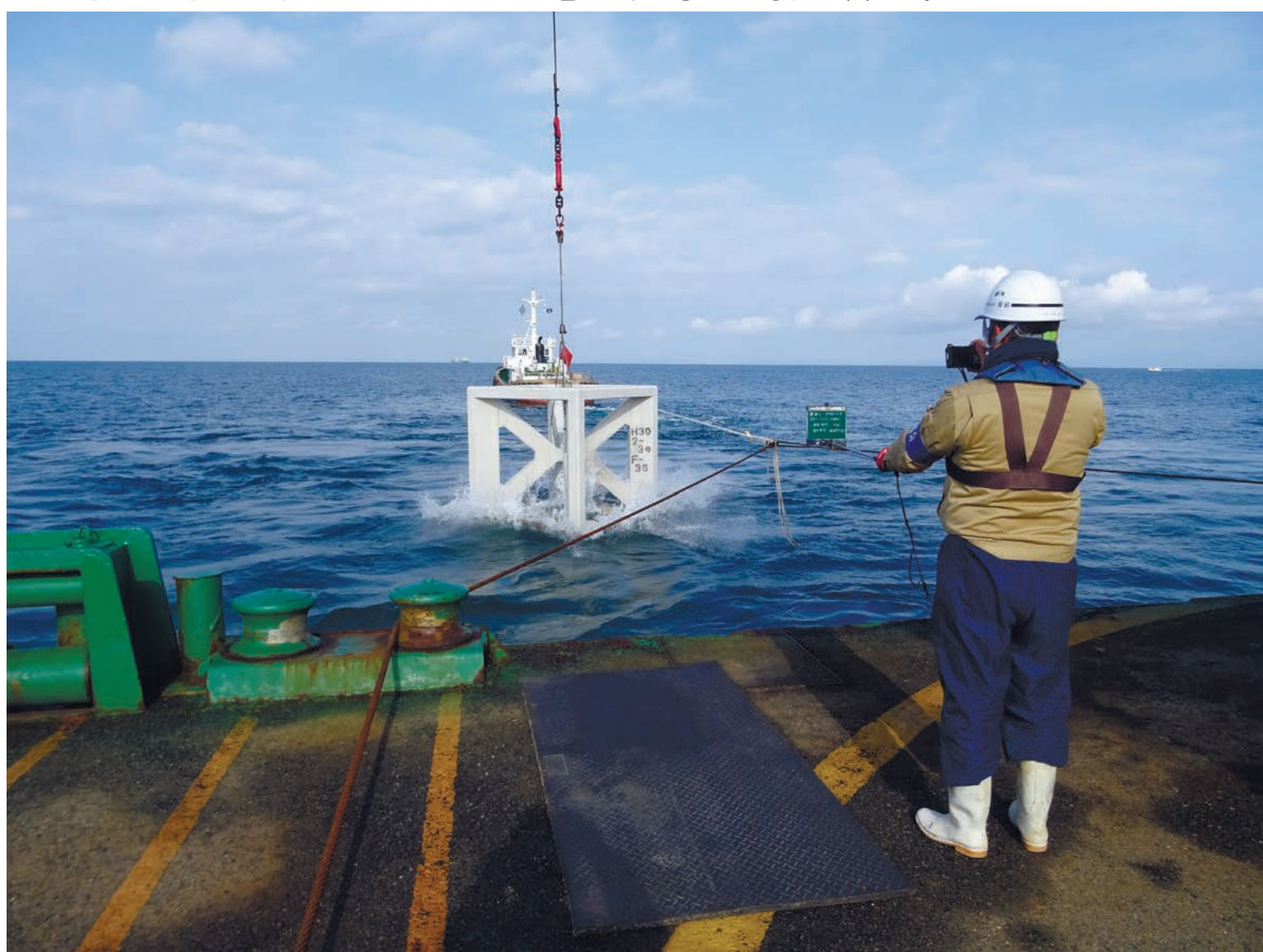
これからも、建設業の魅力を写真を通じて発信し続けていただきますよう、お願い申し上げます。

- ① 撮影場所または施設名
- ② 作品についてのコメント
- ③ 審査委員長講評



最優秀賞

『沈設目標地点 よーし!』 鬼原 浩敏／(株)菅組



- ① 姫島村沖
- ② 平成30年度水振第2-3号水産環境整備工事での写真で、漁礁工で魚の棲家をつくり、沈設しました。写真は、海面に達した瞬間のもので、音はかなりの迫力がありました。
- ③ 普段目にできないシーン。水柱が立っている瞬間が撮られており、非常に力強い写真です。



優秀賞

『メタルロード工法』 豊田 周／(株)佐伯建設



- ① 大分川ダム付替林道工事
- ② 急傾斜になり、通常の道路工事ができないので、メタルロード工法を採用しました。クレーン足場をつくりながら、伸ばしていく工事です。
- ③ 難しい位置にカーブがある道をつくる技術、技能に驚かされました。陰影がしっかり出ています。



土木学会西部支部「土木の日」
大分地区実行委員会賞

『秋の親子火山学習』 嵯峨 栄仁／(株)セキ土建



- ① 別府市堀川砂防ダム
- ② ダムの親子見学会で、火山の模型を使って、噴火のメカニズムを学習しているコマです。土石流からまちを守る砂防ダムの役割を楽しく理解できたと思います。きっと、将来の土木業界を担ってくれることでしょう。
- ③ 興味津々で見入っている、子どもたちの表情が豊かで素晴らしいスナップです。



大分県建設業協会会長賞

『顔出しNG』 二宮 一輝／(株)日建総合建設



- ① 大分市内
- ② 6人揃って段階確認ジャー!
- ③ 土木の現場写真ですが、ちょっとミステリアスな感じを出しており面白い写真です。作品としてのインパクトも強いものがあります。



大分県建設業協会青年部会長賞

『只今研修中!!』 西村 憲史郎／(株)高山組



- ① 玉来ダム建設現場
- ② はるばるベトナムから研修生として来日し、1年が経過しました。技術を着々と取得し、一生懸命働いている姿に、こちらも励まされます。
- ③ 後ろからやさしいまなざしで指導している人と学ぶ研修生の光景が微笑ましく思いました。

佳作

『最高の技術と最高の仕事!』
安田 賢二郎／(株)センコー企画



- ① 大分市大道町2丁目

『道の駅のつはる』
朝倉 崇司／(株)献崇開発



- ① 大分市大字下原

『港湾での橋梁下部工、上部工工事』
麻生 弘樹／(株)佐伯建設



- ① 6号地橋梁工事

『中九州道(朝地IC~竹田IC)開通前』
船石 公彦／朝日工業(株)大分営業所



- ① 竹田IC入口

総評

芦刈 博美 審査委員長 (大分県美術協会写真部顧問)

応募数は多くなかったが、ドローンを使った写真など、普段目にする機会が少ない写真が多く、充実したコンテストだった。完成した構造物の写真もよいが、もっと身近なもので撮影した写真があると、よいと思います。また、写真にはストーリーがあると面白くなりますので、構造物や建築物に人、車、電車などを合わせて撮影すると、写真にもインパクトが出ます。

・審査日

11月13日 大分県建設会館
応募総数:25点

・審査委員

江 藤 康 世 (大分県建設業協会青年部会会長)
下 郡 政 治 (大分県建設業協会専務理事)
山 本 真 哉 (大分県土木建築部建設政策課長)
川 邊 伴 子 (株)大分建設新聞社代表取締役社長)

ご応募
ありがとう
ございました

